

エコアクション21

環境経営レポート



有限会社田中企画

2024 年度
第19期

(取組期間： 2024 年4月1日 ～ 2025 年3月31日)



エコアクション21
認証番号 0001275

発行日：2025年5月31日

目 次

ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無.....	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	13



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ごあいさつ

有限会社田中企画は「^{ごみ}誤美から^{ごみ}護美への企画」をモットーに”環境を^{まも}る”取組を行っています。
人間生活から出る^{ごみ}ゴミ 事業活動から出る^{ごみ}ゴミ ゴミ箱へ捨てればいい、すべて目の前から消えて
なくなればそれできれいになった、と思われるでしょう。

しかし、私達はそれを誤りだと考えます。

その今まであった^{ごみ}ゴミがどのような方法で処分され、また、どのように有効利用されるのかを
企画していくことで、『資源保護』『環境保護』につながっていくと考えております。

環境経営方針

『資源保護』や『環境保護』を通して、本業である産業廃棄物収集運搬及び中間処理の事業活動における
環境負荷の低減を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・
積極的に取り組みます。

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境システムを構築・運用し、全社一丸となって
環境保全活動に取組み、環境経営の継続的改善を図ります。

さらに、顧客要求に真摯に向き合い、顧客満足度の向上を目指し、その要求に応えるためにも、
従業員が働きやすい職場環境を整備し、従業員一丸となって環境コミュニケーションへの取組を
推進をしていきたいと考えています。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減のために、省エネルギー（電気・燃料）に努める
 - ② 資源の有効利用のためにコピー用紙の削減、節水に努める
 - ③ 受託した産業廃棄物の再資源化促進に努める
 - ④ 受託先にリサイクル化、書類の電子化提案を促進する
 - ⑤ 顧客の環境負荷削減に貢献する
3. 環境経営活動の取組のために、社員が働きやすい職場環境の整備に努めます。
4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境経営方針を周知します。



制定日： 2006年5月13日

改定日： 2022年4月13日

取締役 田中 茂年

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社田中企画
取締役 田中 茂年
- (2) 所在地
本 社 大阪府交野市星田北一丁目44番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 田中 佳菜子 TEL:072-810-2333
担当者
- (4) 事業内容
産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬
- (5) 事業の規模
法人設立 1995年2月28日
資本金 300 万円
売上高 5,933 万円
従業員 4 名
延べ床面積 1,460 m²

受託した産業廃棄物の処理

収集運搬量	961.91 t		
中間処理量	223.150 t	うち再資源化量	190.400 t
最終処分量			
中間処理後の産廃の処分量	223.150 t	うち再資源化量	190.400 t

保有車両

車種	台数	備 考
8.0 t アームロール	1 台	
2.9 t ユニーク車	1 台	
軽トラック冷蔵車	1 台	
合計	3 台	

主要設備

名称	台数	備考
破碎機	1 基	
破碎機	1 基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
積み替え保管施設	174.8 m ²	54.7 m ³	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社田中企画
対象事業所： 本社
活 動： 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、特別管理産業廃棄物の収集運搬

口許可の内容

保有許可一覧

産業廃棄物中間処理業																		
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 く ず	木 く ず	織 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガラス く ず	鉍 さ い	が れ き 類	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	無	2022年5月30日 2029年5月29日	02720103042						●	●	●	●	●	●	●			

事業区分 中間処理（破碎）

破碎施設 ①能力：91.3m³/日 設置年月日：平成15年（2003年）3月26日
②能力：7.7m³/日 設置年月日：平成18年（2006年）3月27日

産業廃棄物収集運搬業																		
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 く ず	木 く ず	織 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	鉍 さ い	が れ き 類	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等
大阪府	有	2022年5月30日 2029年5月29日	02710103042	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※1
京都府	無	2022年7月17日 2029年7月16日	02601103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02803103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02900103042		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
滋賀県	無	2020年7月 9日 2027年7月 8日	02501103042						●	●	●	●		●	●	●	●	

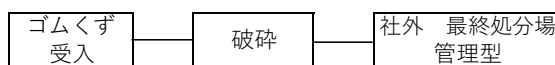
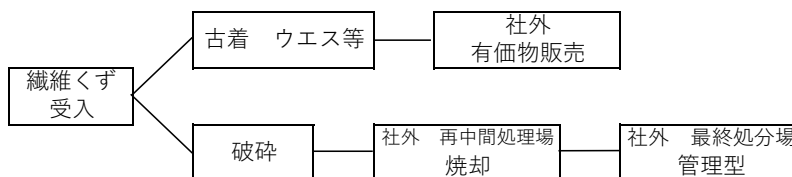
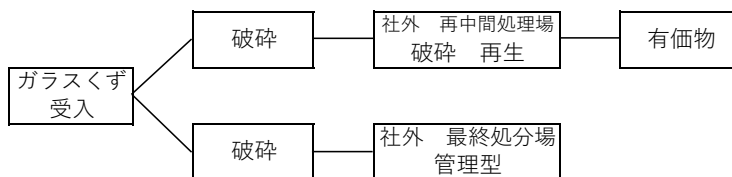
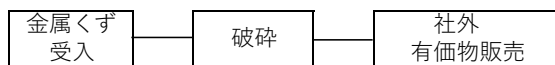
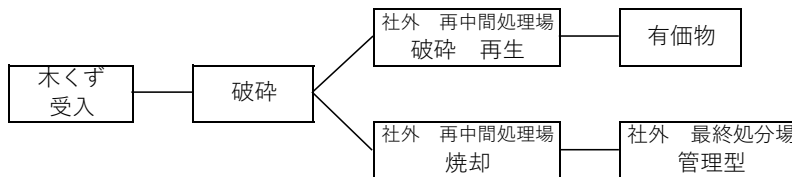
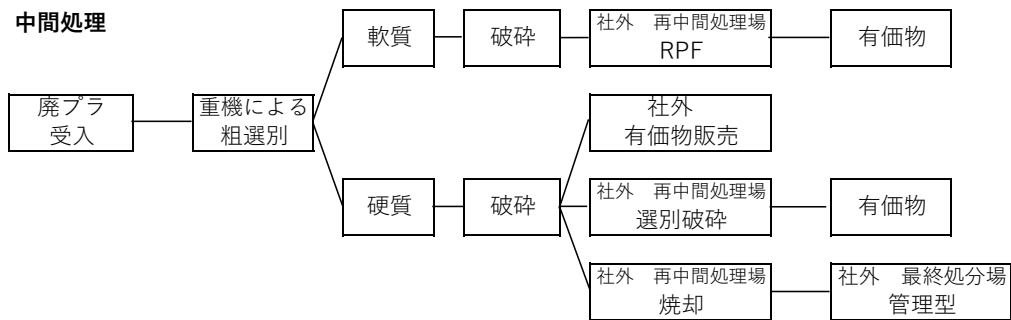
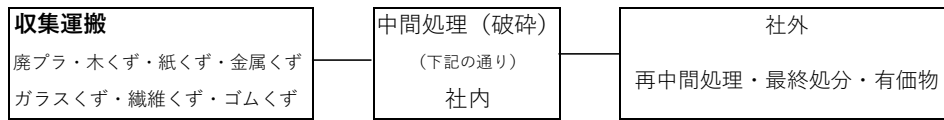
※1 積み替え保管施設の所在地及び面積、許可条件等
所在地 交野市星田北一丁目323番、324番1
面積 174.8m²
積上げ高さ 1.3m
積替えてできる産廃の種類 汚泥・廃酸・廃アルカリ・鉍さい（石綿含有産業廃棄物を除く）
がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
廃プラスチック類・ガラスくず（石綿含有廃棄物に限る）

特別産業廃棄物収集運搬業														
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	感 染 性 廃 棄 物	汚 泥	鉬 さ い	廃 石 綿 等	ば い じ ん	燃 え 殻	積替え保管施設の 所在地及び面積 許可の条件等	
大阪府	無	2023年4月26日 2030年4月25日	02750103042	●	●	●	●	●		●				
京都府	無	2025年2月14日 2032年2月13日	02651103042	●	●	●	●			●				
兵庫県	無	2023年7月 4日 2030年7月 3日	02853103042	●	●	●	●			●				
奈良県	無	2023年8月31日 2030年8月30日	02950103042	●	●	●	●			●				

は、優良確認産業廃棄物業者として認められた許可証です。 有効期限は7年となります。



□ 廃棄物処理フロー



□事業の紹介

- 産業廃棄物収集運搬業 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県の収集運搬ができます。（品目は許可内容参照）
 すべての自治体の優良産廃事業者を取得しています。
- 産業廃棄物処分業 大阪府 産業廃棄物中間処理（破碎）を行っています。（品目は許可内容参照）
 優良産廃事業者です。
- 電子マニフェスト【J W N E T】【e-reverse】、電子契約【er-contract】に対応しております。

◎産業廃棄物の仕分け



このように手選別することにより危険物等も安全に取り出すことができる

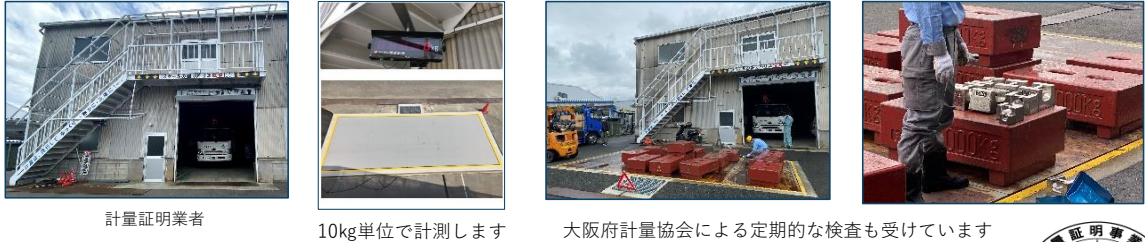
◎再生資源は種類ごと、細かく仕分け（写真は一部です）



◎アルミ缶リサイクル



◎トラックスケールによる正確な計測



◎運搬車両・分別容器



環境経営組織及び役割・責任・権限

社長 環境管理責任 全従業員 総務・経理、営業 収集運搬、中間処理		更新日：2024年4月1日
所属	役割・責任・権限	
代表者 社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営レポートの承認 - 従業員に対する教育訓練の実施（専門教育） - 実施体制の構築	
環境活動責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境経営の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） - 従業員への環境経営方針の周知 - 従業員に対する教育訓練の実施（一般教育） - 環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練（指導/社長）を実施、記録の作成 - 問題点の発見、是正、予防処置の実施	
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加	

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	10,192	10,451	8,858	
Scope1（化石燃料）	kg-CO2	9,089	9,210	7,520	
Scope2（電力）	kg-CO2	1,103	1,241	1,338	
受託収集運搬量	トン	1,072	1,080	962	
受託中間処理量	トン	271	277	223	
受託最終処分量	トン	0	0	0	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	45.5	37.5	30.0	
産業廃棄物排出量	トン	0.0	0.0	0.0	
総排水量	m ³	13.0	16.9	13.8	
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318			kg-CO2/kWh
関西電力R1年度実績		関西電力			

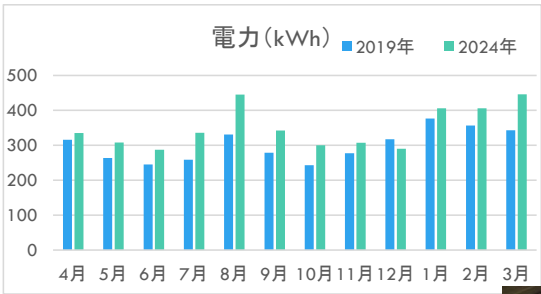
環境経営目標及びその実績

年 度		2019年度	2024年度		評 価	2025年度	2026年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 CO2排出係数0.318kg-CO2/kWh 関西電力 R1年度実績 R3.7.19一部追加・更新	kWh	3,608	3,601	4,208	×	3,601	3,601
	基準年度比		99.8%	116.6%		99.8%	99.8%
	kg-CO2	1,147	1,145	1,338	×	1,145	1,145
	基準年度比		99.8%	116.6%		100%	100%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,066	9,066	7,520		9,066	9,066
	基準年度比		100.0%	83.0%		100%	100%
自動車燃費（ガソリン）向上	燃費（km/ℓ）	7.6	8.3	8.4	○	8.3	4.7
	基準年度比		109.5%	110.5%		109.5%	102.5%
自動車燃費（軽油）向上	燃費（km/ℓ）	4.6	4.7	4.7	○	8.3	4.7
	基準年度比		102.5%	102.2%		109.5%	102.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	10,213	10,211	8,858		10,211	10,211
一般廃棄物の削減	kg	48.5	48.5	30.0	○	48.5	48.5
	基準年度比		100%	62%		100%	100%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	—	86%	91%	○	86%	86%
水道水の削減	m ³	21.0	21.0	13.8	○	21.0	21.0
	基準年度比		100%	66%		100%	100%
環境に配慮したIT化の促進	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成 達成率85.6% 空調温度の適正化のために、サーキュレーター使用やクールビズ、ウォームビズに取り組んでいるが、目標値に
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	達せず。次年度以降、達成率が80%以下になれば目標設定の改定をする。
・不要照明の消灯	○	
・工場内の昼間（日射）作業	○	



節電注意喚起



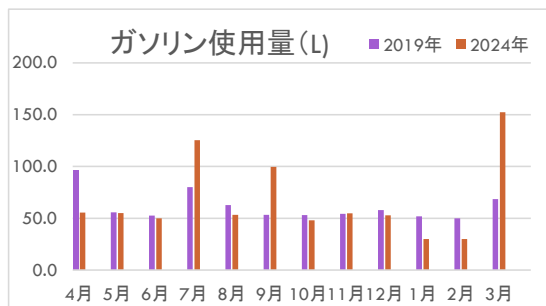
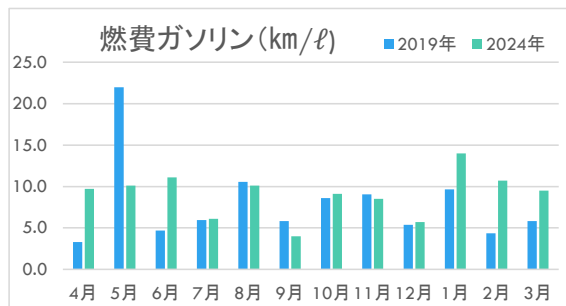
構内・事務所
LED照明



こまめに
エアコンフィルター清掃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	316	264	245	259	331	279	243	277	317	377	357	343	3,608
2024年	335	308	287	336	445	342	300	307	290	406	406	446	4,208

自動車燃料による二酸化炭素削減 自動車（ガソリン）燃費向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	ガソリン累計燃費8.4km/L 達成 達成率101.2%
・アイドリングストップ	○	事前の運転ルートの選定により効率化を図るように心掛ける。
・急加速の抑制	○	
・冷暖房の控えめ使用	○	



燃費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	3.3	22.0	4.7	6.0	10.6	5.8	8.6	9.0	5.4	9.7	4.4	5.8	7.6
2024年	9.7	10.1	11.1	6.1	10.1	4.0	9.1	8.5	5.7	14.0	10.7	9.5	8.4

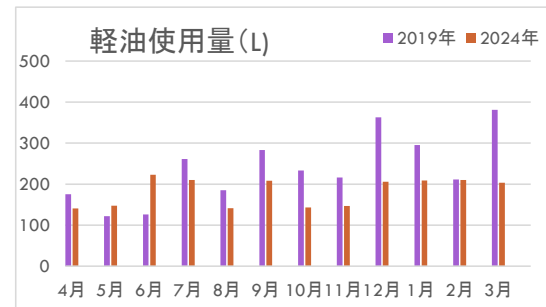
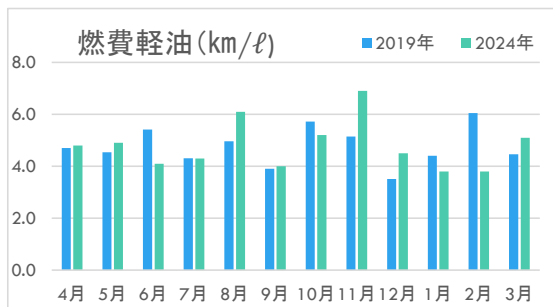
(km/ℓ)

燃料使用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	96.1	55.8	52.6	80.0	62.7	53.4	53.2	54.2	58.0	51.8	50.0	68.4	736.3
2024年	55.5	55.0	50.0	125.3	53.3	99.5	48.0	54.7	52.9	30.0	30.0	152.5	806.9

(ℓ)

※燃料使用による二酸化炭素削減目標は業務上困難なため、燃費向上を環境取組とする。評価は燃費に対するものである。

自動車燃料による二酸化炭素削減 自動車（軽油）燃費向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	軽油累計燃費4.7km/L 達成 達成率100%
・アイドリングストップ	○	運搬先での待ち時間がないか、交通情報を確認し渋滞を避けるなどを心がけている。今後も引き続き実行していく。
・急加速の抑制	○	
・冷暖房の控えめ使用	○	
・適正荷積み	○	



燃費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	4.7	4.5	5.4	4.3	5.0	3.9	5.7	5.1	3.5	4.4	6.0	4.5	4.6
2024年	4.8	4.9	4.1	4.3	6.1	4.0	5.2	6.9	4.5	3.8	3.8	5.1	4.7

(km/ℓ)

燃料使用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	175	122	126	261	185	283	233	216	363	295	211	381	2,852
2024年	141	148	223	210	141	208	143	147	206	209	210	204	2,189

(ℓ)

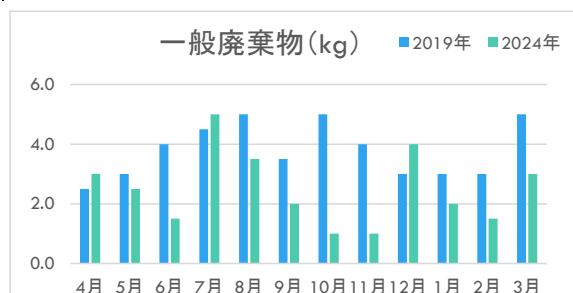
※燃料使用による二酸化炭素削減目標は業務上困難なため、燃費向上を環境取組とする。評価は燃費に対するものである。

作業日報記入(作業使用部課(特設))		前日メーター	本日メーター	燃費メーター
日野ダンプ	軽油	km	km	km
ユニック	軽油	km	km	km
コンボ	軽油	km	km	km
フォークリフト	軽油	km	km	km
車種	燃費	前日給油時メーター	今日給油時メーター	給油量
日野ダンプ	軽油	km	km	km
ユニック	軽油	km	km	km
備考(※日の子で印)				
給油ごとに 燃費計算し 記入する				
出張者 _____ 欠勤者 _____ 記入者 _____				

給油した際に、作業日報へ燃費計算し記入



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成 達成率161.7%
・パソコンによるFAX送受信	○	プリントアウト前の再チェックを怠りがちなので、注意する。取り組み維持継続。
・裏紙仕様	○	
・ミスコピーの防止	○	



ペーパーレス化 取組中



ミスコピー注意
裏紙使用
不使用時の電源OFF



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	2.5	3.0	4.0	4.5	5.0	3.5	5.0	4.0	3.0	3.0	3.0	5.0	45.5
2024年	3.0	2.5	1.5	5.0	3.5	2.0	1.0	1.0	4.0	2.0	1.5	3.0	30.0

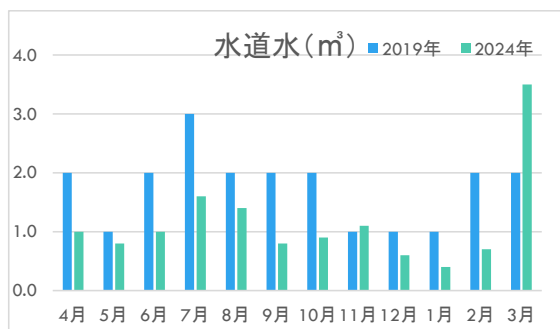
(kg)

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成 達成率106.1%
・従来通り廃プラ、木くず、紙くず、金属	○	レポート中の取組紹介にもあるように、金属くずは何十種類にも分けています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、ガラスくずも各々いくつか種類ごとに仕分けています。手選別は細かく大変な作業ですが、すべてリサイクル
・手選別による仕分け強化	○	率向上につながっています。
・保管中の廃棄物がほかの廃棄物と混ざらないような設備構造	○	
・廃棄物受入混入禁止物チェック	○	



一般廃棄物、危険物の持込やコンテナへの混入が多い
ため、排出業者への仕分方法の指導を行っている
(注意喚起通知の一部)

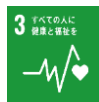
水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成 達成率152.1%
・節水運動	○	最終月(3月)の使用量UPの理由は、現場作業中の粉塵飛散防止のため、水の散布をしたため。ほかの月は問題なし。次年度も取り組み維持継続する。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	2.0	1.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	21.0
2024年	1.0	0.8	1.0	1.6	1.4	0.8	0.9	1.1	0.6	0.4	0.7	3.5	13.8

(m³)

人材を活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・職場環境の改善	○	夏場の従業員休憩場所の環境を整える。次年度は、スポットエアコン導入予定。
・社員の労働環境改善	○	
・社員意識向上	△	
・社員へのコミュニケーション促進	△	



環境に配慮したIT化の促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・顧客要求の変化への対応	○	昨年度同様、顧客への電子マニフェスト作成方法の指導に苦戦。次年度は余裕をもって指導できるよう対策を思考する。
・電子データ化、IT化の促進	○	



電子マニフェスト導入推進



事業所の取組紹介

受け入れた産業廃棄物から出てくる、業務浄水器、エアコン、水栓類、パルプ類などを抜き取りさらに分解し、非鉄だけにする。非鉄の種類ごとに仕分ける。
楽器も廃棄されます。こちらはシンバルで非鉄品目は真鍮になります。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬及び中間処理業許可、契約締結・マニフェスト適正管理（詳細許可内容確認）
家電リサイクル法	再商品化に必要な料金の支払い 適正処理（テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫）
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い フロン回収 適正処理（車両全般）
資源有効利用促進法	パソコンメーカー自主回収の協力義務
消防法	消防設備の定期点検（構内・事務所）
自動車NOx・PM法	窒素酸化物排出基準・粒子状物質排出基準の適用（運搬車）
フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び管理の適正化、廃棄時のフロン回収（エアコン室外機）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取り組み期間中、外部からの苦情・要請等はありませんでした。

確認日：2025年3月31日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 大雨、洪水、地震、火災の発生	
■実施日： 2025年1月31日	■実施場所 構内
■参加者： 田中茂年 田中佳菜子 岩丸和樹 阿部菜緒	■実施内容： ・通報訓練、連絡ツールの確認
■評価： いつ起きるかわからない自然災害時の 適正な行動、安全確保、情報共有方法の確認。作業中の火災発生時の対応。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 ◎ 自然災害発生時における対応手順を会議形式で対話 ・ 出勤前、出勤途中の連絡方法 ・ 勤務中の家族への連絡方法 ・ 顧客への対応方法 ・ 退勤途中、退勤後の連絡方法 ◎ 作業中の火災発生、消火対応手順を会議形式で対話 ・ 構内の消火器設置場所の確認 ・ 火災発生時の報告方法（消防署、代表者、不在社員）	

代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度の未達成環境経営計画の項目は、電力による二酸化炭素削減でした。全体的な取り組みは良好でありますし、過度な使用もないため、計画および目標の変更はなしとしますが、今後の活動状況によって目標修正を行います。結果は未達成ということですので、それを念頭において、環境経営計画を引き続き実行し、エコ省エネタイプの製品の見直しも行うようにします。

環境経営レポートを刷新してから3度目の発行となりました。

今までも数値のグラフ化はありましたが、環境経営計画の取組、結果、数値、評価、グラフがまとまり、取組活動報告、写真が多く添付されており、活動状況がわかりやすくなりました。

今年度は京都府特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の更新がありました。

今回の更新も問題なく優良産廃処理業者として認定されました。

この制度で認定を受けるにはいくつかの必要条件がありますが、その中でも「事業の透明性にかかる基準に適合すること」があります。要するに、情報公開です。

項目によっては更新する期間と回数が決められています。我々は、変更があったときは即座に更新し、月に1度は確認し、処理量の報告を行うようにしています。

更新漏れがないように日々気を付けており、今回の更新も指摘等なくスムーズに申請することができました。

近年、想定外の自然災害が全国各地で多発しております。豪雨、台風、地震、我々が住む街は、南海トラフ巨大地震にかかわる可能性があります。また、いつどこで発生するかわからない感染症は予想できない大災害です。

そこで、我々でも取り組むことができる事業継続力強化計画を作成し、認定を取得するための申請準備を進めております。次年度のレポートでは、取得報告を行いたいと思っております。

2025年3月31
代表取締役 田中 茂年

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

社会貢献活動

社員一人ひとりが環境保全への意識を持ち、地域清掃活動に取り組んでいます



会社周辺の清掃活動（ごみ拾い）の様子



ひと月で集めた
タバコの吸い殻

子どもたちの通学路となっている
地域です
思いのほか多くの吸い殻が落ち
ており、日常の中でのマナー意識の
低さを実感しました
今後も地域の環境美化に
努めたいと思っております

社会貢献とし、「募金・寄付支援活動」
を実施しています

募金・寄付支援として、

【ボトルキャップ】・【使用済み切手】・【ペルマーク】を
収集し、国内外の医療・福祉・教育など、
様々な事業の支援を行います



交野市の伐採作業を補助
重機で樹木等の積込

会社の周りは小学生の
通学路でもあるため
子どもたちが安全に通学
できるよう危険と思われる物の撤去をボランティアでしています



小学生の「環境・リサイクル」の授業においてごみ分別を学ぶ施設見学

廃棄物の分別方法の話
ペットボトルリサイクルについての話
機械製品の分解体験



編集後記

環境経営計画の取組として「環境に配慮したIT化の促進」があります。
産業廃棄物マニフェストは紙からWeb電子、資料、請求書等の送付は電子メールなど、ペーパーレスの時代を着々と感じています。
また伝達方法も電話よりメールで、記録が残るということですが、返信がない、既読しているか不明で、相手に気を遣いすぎて
仕事が進まないケースも多く感じています。お金もキャッシュレスの時代。なんでもかんでもレスになり、環境マネジメントに
携わる者として、まだまだその時代について行けていない今日この頃です。

環境管理責任者